

団体名 特定非営利活動法人もりメイト倶楽部Hiroshima

ホームページ <http://www.morimate-ch.com/>

今後取り組みたいこと 他団体との交流や出会いを大切に、クラフト部会の楽しさを伝える。部会メンバーを増やすこと。

主な活動地域 広島 / 一般参加イベント あり / 会員・ボランティア募集 あり

代表者 理事長 山本 恵由美

お問い合わせ先 〒730-0002 広島市中区白島中町12-4

TEL 090-6419-7531 FAX 082-221-1080

メール rsc57172@nifty.com 担当:竹原

NPO 法人もりメイト倶楽部 Hiroshima

森林資源の維持管理活用化事業（クラフト部会）の歩みと今後

1 部会発足の経緯

もりメイト倶楽部が発足してまもなく、例会で間伐、下草刈り、里山整備と作業をこなしている合間に、木のツルでカゴを編んだり、小枝のついたヒノキの皮を剥ぎ乾燥させて白木のツリーにしたり、作業で出た材料を利用したりとクラフト工作が楽しみでもあるようになりました。

そんな中「間伐部会」、「里山部会」と目的を持った部会活動がはじまり、クラフトについても「ただ山で作業をするだけでなく自然の物を活用して作る」また、そのために人々が集まることも含めて活動していこう、という事で2003年からスタートしました。

部会としての最初の活動は2003年10月25日です。白木町北田城跡で開催された森の音楽会、その時に演奏していただいた舟入高校プラスバンド部の皆さんにお礼として「状差し」を作りました。

2 部会の苦労と工夫

発足当初は松が原に活動していましたが平成22年に美鈴が丘工房に移りました。最初はノコ、小刀、接着剤、グルーガンなど小さな工具を使っていましたが、徐々に大きな工具もそろえるようになり、扱う材も大きなものが加工できるようになりました。

その後人数も増え大型機械も増えてきました。丸太運搬通路の確保、広い作業場所確保のため手狭になった作業場所を移転することになりました。

平成28年1月より製材機は湯来町麦谷の松波様敷地へ、主要活動場所は安佐南区祇園山本町鹿ヶ谷のNPO 法人里山環境保全みどり会様所有地へと移転しました。

部会の主な行事として春のグリーンフェア（広島市中央公園）、広島フラワーフェスティバル（平和大通り）、ひろしま森の市（広島市森林公園）などにクラフト指導で参加しています。

(道具)

立木や丸太を切るチェーンソー

丸太を柱や板材にする製材機

材を切断する手ノコ、電動式丸ノコ、丸ノコ盤

板材を削る電動カンナ、プレーナー

穴あけやねじ止め作業に使う電動ドリルドライバー、ボール盤

材を削るヤスリ、ベルトサンダー

発電機、コンプレッサー

(材料)

発足当初は間伐した後まだ乾いていない材を使っていましたが、接着が難しい、割れてくると問題が発生しました、今では1年～2年乾燥させてから使っています。

例会や部会の作業で出た材やドングリ、マツカサ、ヤシヤブシの実など使えそうなものは持ち帰ることにしています。ツバキやリョウブは切断面がきれいなので重宝します。

(教える)

道具の正しい使い方、基本動作を教えることにしています。

最近は電動工具も強力になり持ち手が負けるようになってきました。

怪我をしない、させないは発足当初より守ってきた基本です。

(参考作品を探す)

フラワーフェスティバル、クラフト教室など機会あるごとに作品を見るようにしています。大人では考え付かない子供たちの個性豊かな発想、写真ではわからないことなど勉強になります。

3 継続できた理由

(道具)

助成金や謝礼、会員寄贈等で電動工具を増やしてきました、凝ったものが作れそうという気持ちが一歩前進するパネとなっています。

(満足)

子供たちの喜ぶ顔、ノコや金槌、ナイフを使ったことのない子供たちに教え、使い方を覚えてくれた満足感。

(作品)

出来上がった作品を見て喜ぶ子供たちの笑顔、家族の笑顔、持ち帰りができる喜び、見ている自分たちもうれしくなります。

5 クラフト作品



作品例（箱庭、ロボット）



作品例（木絵）



作品例（箱庭、汽車、置台）



フラワーフェスティバルにて（H28.5.3）